

PAIN REHABILITATION

「ペインリハビリテーション」

第28回 日本ペインリハビリテーション学会学術大会
プログラム・抄録集

Vol.14
No.2 2024

第28回

日本ペインリハビリテーション学会

学術大会

プログラム・抄録集

テーマ 臨床実践の新機軸

会期 2024年 6月8日(土)・9日(日)

会場 長崎大学医学部医学科 坂本キャンパス
〒852-8523 長崎県長崎市坂本1-12-4

大会長 片岡 英樹
社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部 副部長
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野 臨床教授

巻 頭 言



第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会

大会長 片岡 英樹

社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部 副部長
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野 臨床教授

謹 啓

このたび、2024年6月8日(土)～9日(日)の2日間、長崎大学医学部医学科坂本キャンパスにて、第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会を開催させていただきますことを誠に光栄に存じます。本学術大会では、テーマを「臨床実践の新機軸」とし、ペインリハビリテーションに関わる新たな知見や技術をどのように活用し、日常の臨床に実装していくかについて議論するとともに、臨床実践が不十分な患者について理解を深め、少しでも効果的な介入が可能となるような新機軸を打ち出すことを目指し、特別講演、特別企画、シンポジウム1・2、教育講演ならびに一般演題発表などのプログラムを企画いたしました。

特別講演では加藤 総夫先生(東京慈恵会医科大学痛み脳科学センター)をお招きして「痛覚変調性疼痛の概念およびメカニズムから切り拓く慢性疼痛治療の新機軸」をテーマにご講演いただきます。また、シンポジウム1「ペインリハビリテーションとDXの融合」では、近藤 慎也先生(株式会社リハサク)、金居 督之先生(金沢大学融合研究域融合科学系)、池田 登顕先生(山形大学医学部医療政策学講座)に話題提供いただき、DXを活用したペインリハビリテーションの可能性や新しいカタチについて議論したいと思います。シンポジウム2「ペインリハビリテーションの新機軸」では、服部 貴文先生(神戸学院大学総合リハビリテーション学部)、西 祐樹先生(長崎大学生命医科学域(保健学系))、田中 創先生(福岡整形外科病院リハビリテーション科)に話題提供いただき、痛みの病態評価や層別化、リハビリテーション戦略の新機軸について実装も含めて議論したいと思います。さらに、特別企画では、加藤 実先生(春日部市立医療センターペインクリニック内科)、鳥沢 伸大先生(日本大学医学部附属板橋病院リハビリテーション科)、安藤 千晶先生(東京都健康長寿医療センター研究所認知症未来社会創造センター)、後藤 響先生(長崎記念病院リハビリテーション部)によるレクチャーと実践報告を通して、子どもと認知症高齢者の痛みの捉え方やリハビリテーションの実際について理解を深め、これらの患者に対する臨床実践の質の向上を目指した議論をしたいと思います。その他、今回は学術大会の初の試みとして、「エキスパートに学ぶ臨床実践」と題し、ワークショップやハンズオンセミナーを企画しています。ぜひ、こちらにも積極的にご参加いただき、明日からの臨床実践に活かしていただけますと幸いです。また、本学術大会では、一般口述演題92題、ポスター演題57題が採択されました。演題の内容も幅広く、これまでとは一味違う議論や情報交換が展開されることを大変楽しみにしております。

最後になりますが、本学術大会の運営にご尽力いただきました準備委員、運営委員ならびに理事・代議員の先生方、また、多大なるご支援を賜りました後援企業の方々に深謝申し上げます。

謹 白

運営委員(敬称略, 順不同)

片岡 英樹 (長崎記念病院)
坂本 淳哉 (長崎大学)
松原 貴子 (神戸学院大学)
森岡 周 (畿央大学大学院)
坂野 裕洋 (日本福祉大学)
平川 善之 (福岡リハビリテーション病院)
佐藤 剛介 (奈良県総合医療センター)
城 由起子 (名古屋学院大学)
後藤 響 (長崎記念病院)

査読委員(敬称略, 順不同)

坂本 淳哉 (長崎大学)	重藤 隼人 (京都橘大学)
坂野 裕洋 (日本福祉大学)	島原 範芳 (道後温泉病院リウマチセンター)
井上 雅之 (愛知医科大学)	田中 克宜 (佛教大学)
今井 亮太 (大阪河崎リハビリテーション大学)	田中 創 (福岡整形外科病院)
大住 倫弘 (畿央大学)	田中 貴子 (長崎大学)
片岡 英樹 (長崎記念病院)	田中 陽一 (兵庫医科大学)
佐藤 剛介 (奈良県総合医療センター)	土井 篤 (熊本保健科学大学)
下 和弘 (神戸学院大学)	内藤 卓也 (福岡リハビリテーション病院)
城 由起子 (名古屋学院大学)	西 祐樹 (長崎大学)
西上 智彦 (県立広島大学)	許山 勝弘 (福岡リハビリテーション病院)
平川 善之 (福岡リハビリテーション病院)	服部 貴文 (神戸学院大学)
平瀬 達哉 (神奈川県立保健福祉大学)	平賀 勇貴 (国際医療福祉大学)
壬生 彰 (甲南女子大学)	山口 修平 (済衆館病院)
江草 典政 (島根大学医学部附属病院)	本田祐一郎 (長崎大学)
大賀 智史 (神戸学院大学)	藤井 廉 (武蔵ヶ丘病院)
大鶴 直史 (新潟医療福祉大学)	齊藤 貴文 (令和健康科学大学)
大友 篤 (仙台ペインクリニック)	古賀 優之 (畿央大学大学院)
片山 脩 (国立長寿医療研究センター)	西 啓太 (豊橋創造大学)
金原 一宏 (聖隷クリストファー大学)	田中なつみ (聖隷クリストファー大学)
後藤 響 (長崎記念病院)	長谷川隆史 (和仁会病院)
近藤 康隆 (日本赤十字社長崎原爆病院)	桂 祐一 (岸和田リハビリテーション病院)
佐々木 遼 (長崎大学)	

目 次

交通のご案内	1
キャンパスマップ	2
会場マップ	3
参加者へのご案内	5
座長・発表者へのご案内	8
大会スケジュール	12
奨励賞受賞演題一覧	14
プログラム	15
大会長講演	
片岡 英樹：臨床実践の新機軸	38
特別講演	
加藤 総夫：痛覚変調性疼痛の概念およびメカニズムから切り拓く慢性疼痛治療の新機軸	40
特別企画 こどもと認知症高齢者の痛みに対するリハビリテーションを考える	
レクチャー① 加藤 実：こどもの痛みをどう捉えるか	42
実践報告① 鳥沢 伸大：こどもの慢性疼痛に対するリハビリテーション	43
レクチャー② 安藤 千晶：認知症高齢者の痛みをどう捉えるか	44
実践報告② 後藤 響：認知症を有する大腿骨近位部骨折患者に対するリハビリテーション	45
シンポジウム1 ペインリハビリテーションとDXの融合	
近藤 慎也：双方向モバイルアプリを活用した運動療法	48
金居 督之：デジタルヘルスリハビリテーションが促す行動変容	49
池田 登顕：ビッグデータが導く新規介入戦略 ～疼痛疫学者の視点から～	50
シンポジウム2 ペインリハビリテーションの新機軸	
服部 貴文：評価の新機軸 一病態メカニズムの把握一	52
西 祐樹：物理療法の新機軸 一しびれ感に対する治療一	53
田中 創：運動療法の新機軸 一層別化に基づく治療一	54

教育講演

本田祐一郎：拘縮の病態とメカニズム	56
生野 公貴：ペインマネジメントに活かす電気刺激療法の基礎知識	57
友利幸之介：患者のセルフマネジメントを高める目標設定	58

エキスパートに学ぶ臨床実践

ワークショップ1 井上 雅之：慢性疼痛に対するペインリハビリテーション —ベーシック編：慢性腰痛—	60
ワークショップ2 壬生 彰：慢性疼痛に対するペインリハビリテーション —アドバンス編：複合性局所疼痛症候群—	61
ワークショップ3 友利幸之介：アプリケーションを活用した目標設定	62
ハンズオンセミナー 服部 貴文：定量的感覚検査のコツとピットフォール	63

ランチョンセミナー1 リハビリテーション薬剤の考え方とオピオイド誘発性便秘症管理

城 由起子：リハセラピストにも知っておいて欲しい便秘のこと	66
中道真理子：生活機能を考慮したリハ薬剤で“痛み”への薬物療法を考察する	67

ランチョンセミナー2

三木 健司：慢性腰痛・関節痛 —上手くりハビリを勧めて中枢・末梢神経の痛みを取ろう—	70
--	----

一般口述演題	72
--------	----

ポスター演題	120
--------	-----

協賛企業一覧	149
--------	-----

定 款	150
-----	-----

役員・委員会委員名簿	157
------------	-----

投稿規程	160
------	-----

編集後記	163
------	-----

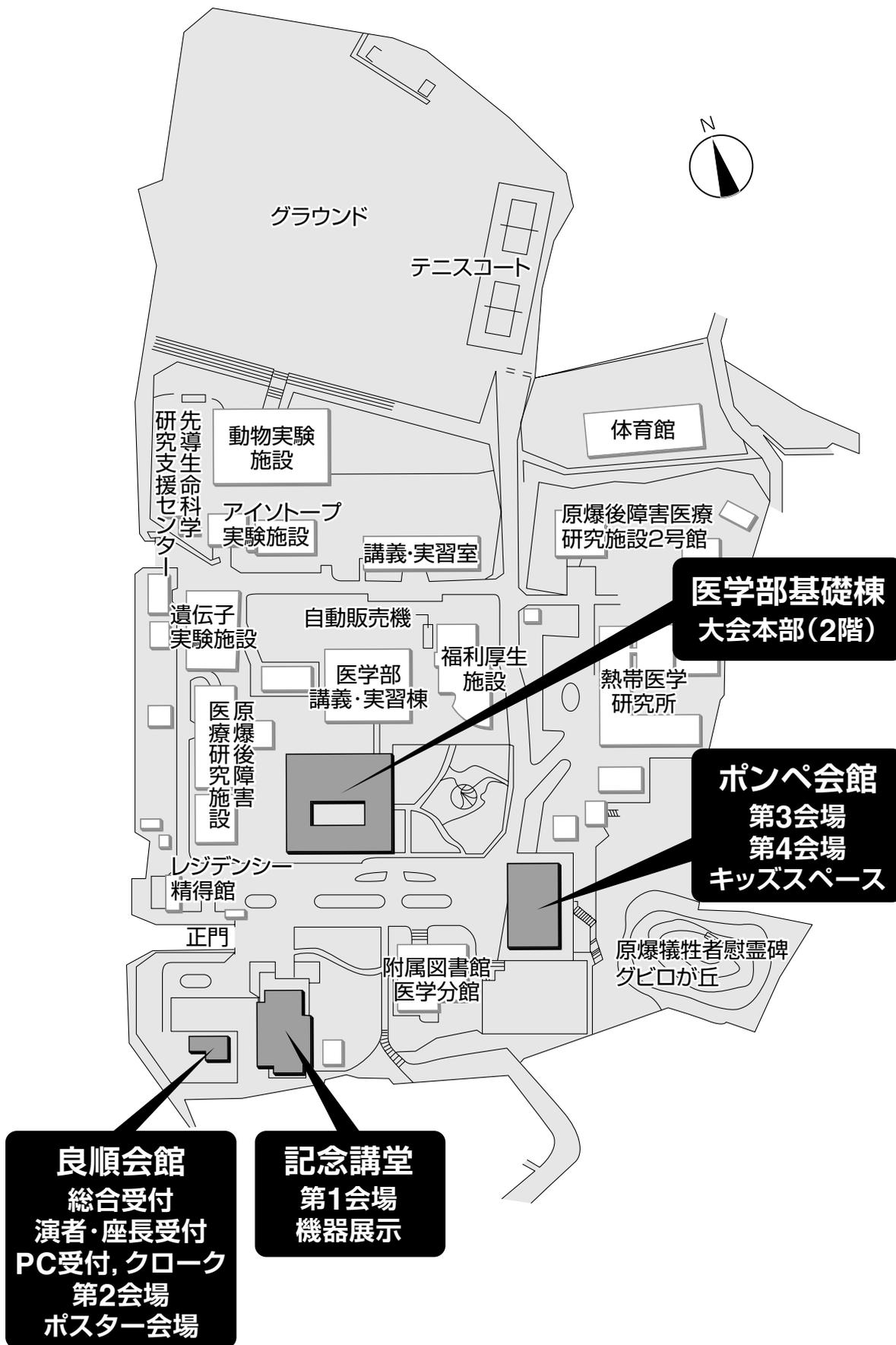
交通のご案内



会場までのアクセス

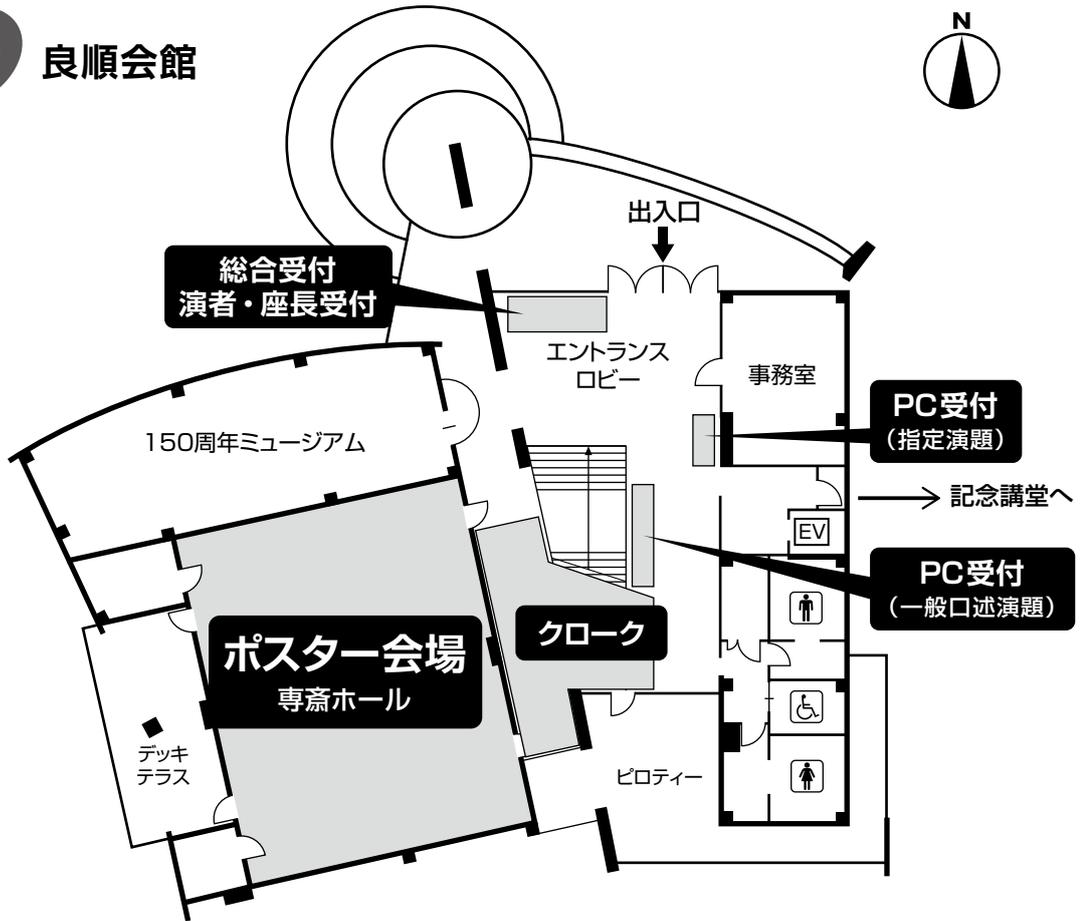
- **JR:** 長崎本線「浦上駅」下車後、路面電車利用または徒歩(約15分)
- **バス:** 長崎バス(医学部経由)「下大橋(しもおおはし)」行きに乗車、「医学部前」下車
- **路面電車:** 長崎駅方面より「赤迫(あかさこ)」行きに乗車、「原爆資料館(げんぱくしりょうかん)」下車後、徒歩約10分
- **航空機:** 長崎空港(大村市)より浦上経由長崎方面行きバスに乗車(約55分)、「平和公園(へいわこうえん)」または「原爆資料館(げんぱくしりょうかん)」下車後、徒歩約10分

キャンパスマップ

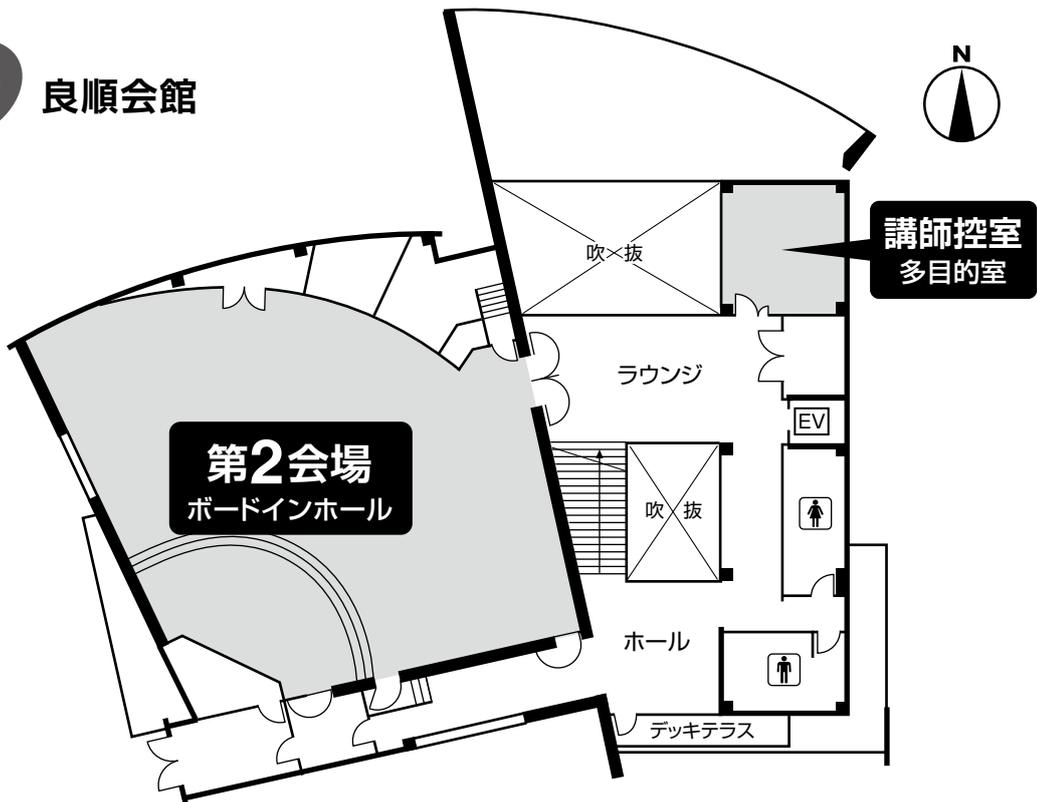


会場マップ

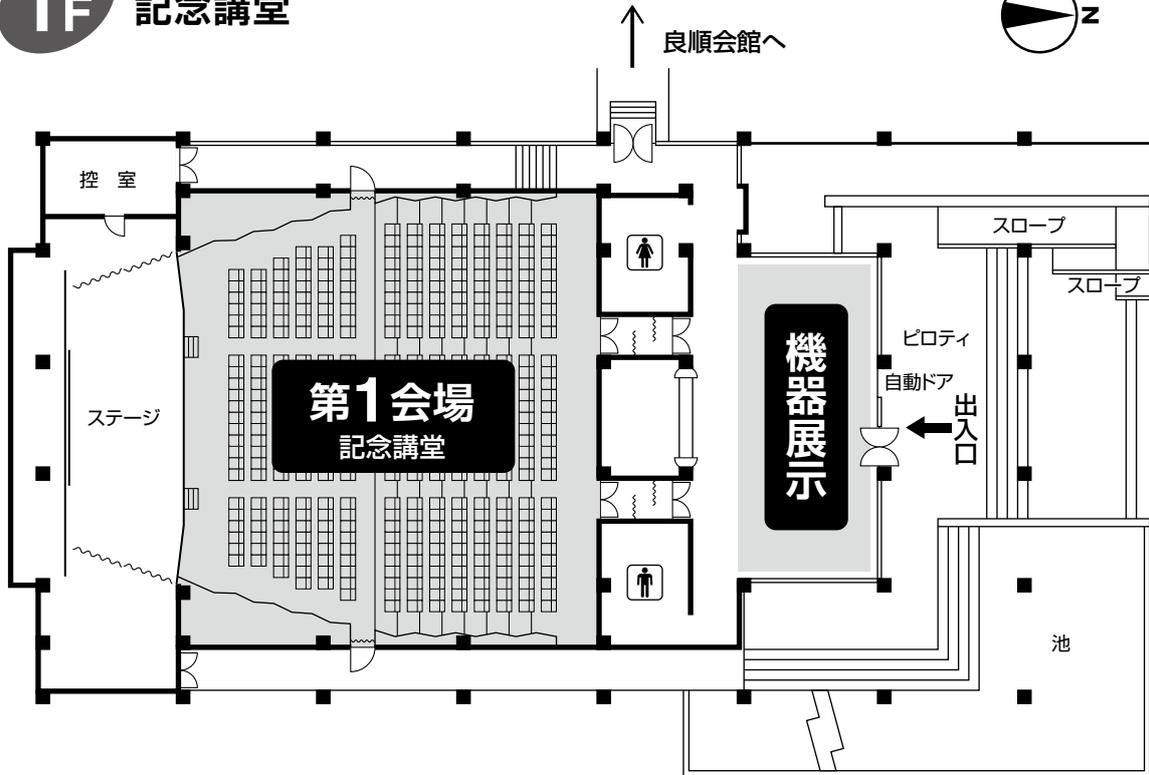
1F 良順会館



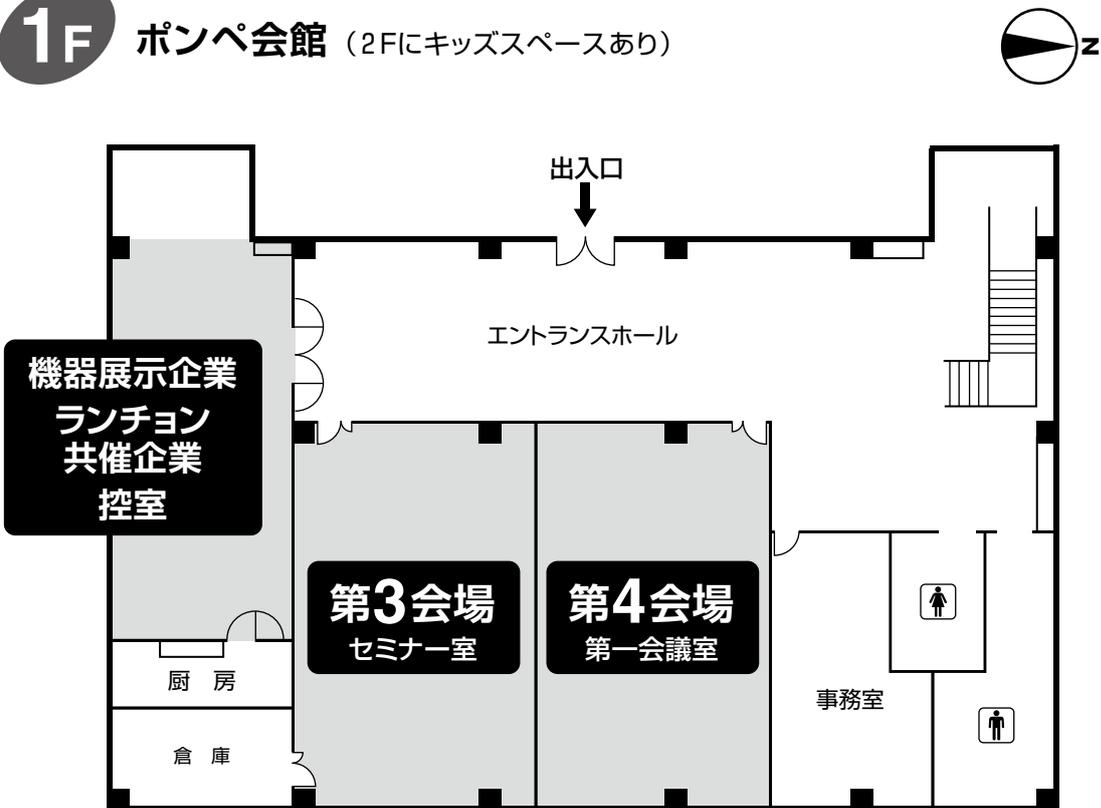
2F 良順会館



1F 記念講堂



1F ポンペ会館 (2Fにキッズスペースあり)



参加者へのご案内

■参加方法

本学術大会は現地開催のみとなります。

■事前参加登録

Peatixにてオンライン決済および参加者情報を登録することで、事前参加登録が完了いたします。

1. 事前参加登録期間

2024年3月4日(月) 15:00～2024年6月7日(金) 15:00

2. 参加費

会 員 : 10,000円

非 会 員 : 12,000円

学 生・会 員 : 1,000円 但: 学生は学部生に限ります(大学院生は含みません)

学 生・非 会 員 : 1,000円 但: 学生は学部生に限ります(大学院生は含みません)

3. 事前参加登録時の注意事項

- 参加費のお支払いはPeatixを利用したオンライン決済で行います。参加費をご確認のうえ、お支払いのお手続きをお願いいたします。
- はじめてPeatixを利用される方は、アカウントを取得(新規登録)していただく必要があります。Peatixのご利用方法について詳しくは(<https://x.gd/Xw3v7>)をご確認ください。
- お支払いには、クレジットカード決済、コンビニ・銀行ATM等での送金などをご利用いただけます。
- コンビニ・銀行ATM等で送金される場合、締切は6月7日(金)15:00となります。
- ご入金後は如何なる理由(災害などによる開催中止の場合を除く)においてもキャンセルとそれに伴う返金は出来ません。特に、二重登録には十分にご注意ください。
- Peatixを利用したお支払いが難しい場合は、学術大会事務局(28thjapr@gmail.com)までご連絡ください。

■当日受付について

当日参加も受け付けますが、参加費のお支払いは現金のみとなります。

■参加証について

- 5月22日(水)までにお申し込みいただいた方にはご登録の住所宛に参加証を郵送いたします。
- 5月23日(木)以降にお申し込み、または当日受付の方は学術大会当日に総合受付にて参加証をお渡しいたします。

■抄録集の販売および送付について

1. 販売方法

- Peatixにて事前販売をいたします。非会員の方で抄録集をご希望の方はオンライン決済を利用してご購入ください。
- 事前販売において販売予定部数に達しない場合には、学術大会当日に総合受付にて販売いたします。
- 事前販売において販売予定部数に達した場合には、当日の販売はございません。

2. 販売価格

1冊 2,350円(税込, 送料込)

3. 送付方法

- 日本ペインリハビリテーション学会会員の皆様には事前に抄録集を郵送いたします(ご購入いただく必要はございません)。
- 非会員の方で、5月22日(水)までに事前購入のお手続きが完了された方には郵送いたします。なお、発送開始は5月24日(金)を予定しております。
- 非会員の方で、5月23日(木)以降に事前購入のお手続きを完了された方は学術大会当日に総合受付でお受け取りください。
- 5月22日(水)までに事前購入のお手続きが完了されたにもかかわらずお手元に届かない場合には、お手数をおかけしますが学術大会事務局(28thjapr@gmail.com)までお問合せください。

■総合受付

1. 場所

長崎大学医学部医学科 坂本キャンパス 良順会館 1F

2. 受付時間

2024年6月8日(土) 8:30~17:30

2024年6月9日(日) 8:30~14:30

■参加受付方法

参加証の参加証明書に【学術大会参加受付】のQRコードを掲載しています。来場後に読み取り、必要事項を入力し、参加受付をお願いいたします。なお、参加証をお忘れの場合は総合受付までお越しください。

■お子様連れの方へ

本学術大会ではキッズスペースならびに子連れ優先席を設けております。

■教育講演受講証の発行について

- 教育講演受講証の発行をご希望の方は、参加証の参加証明書に掲載している【教育講演受講証明】のQRコードを読み取り、必要事項を入力してください。なお、必要事項に入力するパスワードは教育講演内で提示いたします。
- 受講証は6月8日(土)16:00以降に記念講堂前ホールにて配布いたします。

■プレングレス

本学術大会では、プレングレス企画としてセミナーおよびミニレクチャーを配信いたします。

1. プレングレスセミナー

- 事前参加登録者を対象としたプレングレスセミナーを開催いたします。
- 事前参加登録者にはセミナーに参加するために必要な URL ならびにオンデマンド配信を視聴するためのログインパスワードなどの情報をメールにてご案内いたします。
- プレングレスセミナーの開催概要はホームページ (<https://www.painreha.com/preCongressSeminar/login.php>) をご参照ください。
- セミナー開催後、学術大会ホームページからオンデマンド配信のログインパスワードを入力することで、各セミナーをご視聴いただけます。
- 事前参加登録手続きが完了したにもかかわらず、URL に関する連絡が届かない場合には学術大会事務局 (28thjapr@gmail.com) までご連絡ください。
- URL およびパスワードを第三者に提供することは固くお断りいたします。

2. プレングレスミニレクチャー

以下の要領にてプレングレスミニレクチャーを配信いたします。なお、本ミニレクチャーは事前参加登録の有無に限らず一般に公開いたします。

配信期間：2024年4月1日(月)～6月9日(日)

視聴方法：学術大会ホームページ (<https://www.painreha.com/>) で公開いたします。

■懇親会

1. 日 時：2024年6月8日(土) 19:30～

2. 参加費：2,000円

3. 会 場：長崎サンプリエール(長崎県長崎市元船町2番4号, TEL: 095-822-3390)

4. 申し込み：Peatix より6月7日(金) 15:00までにお申し込みください。5月22日(水)までにお申し込みいただいた方には懇親会参加シールを事前に郵送いたします。5月23日(木)以降にお申し込みいただいた方は学術大会当日に総合受付にて懇親会参加シールをお渡しいたします。

■禁止事項

- 講演や演題で発表された数値データやアイデアを不正に他で公表する行為
例) スライドを撮影して自分の講演で披露する, SNS でスクリーンショットをアップして紹介するなど
- SNS などに発表者やその他の方の個人情報を書き込む行為
例) 発表内容から推察して症例の転院先を書き込む, 連絡のために E-mail を書き込むなど
- SNS などに通常の学術的議論を超えた人格を否定するような誹謗中傷・非難, 特定の人物・組織の信用を失墜させるような情報を書き込む行為
例) ○○は馬鹿だ, ○○施設では十分なりハが行われていない, 気に入らないと書き込むなど
- Web に公開しているコンテンツについて, 動画撮影, 録音, 録画, 他の Web 上コンテンツへのアップロードなどは禁止いたします。
- 本学術大会で配信する動画の著作権は一般社団法人日本ペインリハビリテーション学会に帰属します。万が一, 他の Web コンテンツなどへの無断転載を発見した場合, 法的措置をとります。

座長・発表者へのご案内

■座長の皆様へ

- ご担当のセッション開始1時間前までに座長受付をお済ませください(大会2日目9時からのセッションについては30分前までにお済ませください)。
- ご担当のセッション開始10分前までに「次座長席」にご着席ください。
- 開始時間になりましたら、セッション開始のアナウンスをいたします。
- セッション時間の厳守にご協力ください。

■発表者の皆様へ

1. 発表時間

口述発表

指定演題：発表時間は個別にお知らせしております。

一般口述演題(奨励賞受賞演題を含む)：発表時間7分、質疑3分

ポスター発表(奨励賞受賞演題を含む)

大会1日目：13:25～14:25(自由討論)

大会2日目：13:00～14:00(自由討論)

2. 指定演題発表要領

- 発表はPowerPointによるPCプレゼンテーション(OS:MS Windowsでの対応)です。
- 会場では以下の環境のPCをご用意いたします。
Windows版PowerPoint 2013以降またはPowerPoint for Microsoft 365
- 発表データはPowerPoint 2013以降またはPowerPoint for Microsoft 365にて作成してください。また、スライドサイズの比率は16:9にて作成してください。
- 発表データは必ず「PowerPointプレゼンテーション(*.pptx)」にて作成・保存してください。

3. 一般口述演題(奨励賞受賞演題を含む)発表要領

- 発表はPowerPointによるPCプレゼンテーション(OS:MS Windowsのみの対応)です。
- 会場では以下の環境のPCをご用意いたします。
Windows版PowerPoint 2013以降またはPowerPoint for Microsoft 365
- 発表データはPowerPoint 2013以降またはPowerPoint for Microsoft 365にて作成してください。また、スライドサイズの比率は16:9にて作成してください。
- 発表データは必ず「PowerPointプレゼンテーション(*.pptx)」にて作成・保存してください。
- スライド枚数に制限はありませんが、時間内に発表が終了するように作成してください。
- なお、スライドへの動画埋め込みに関しては、発表時のPCで正常に作動しない可能性があることをご了承の上、ご利用ください。発表用PCでの事前チェックはできません。また、スライドのデータ容量は100MB以下にしてご提出ください。
- 発表セッション開始予定時間の10分前に「次演者席」にご着席ください。

4. 発表メディアの受付

受付時間：6月8日(土) 8:30～17:00

6月9日(日) 8:30～13:00

1) 指定演題

- PC 受付へデータを預ける際は、USB メモリーに発表データを保存し、ご持参ください。USB メモリー以外のメディアでは受付できません。発表データを USB メモリーへ保存後、他の PC でもデータが開くことを確認してください。
- なお、ご自身の PC でご講演される場合は、PC 受付にてお預かりいたします。Mac および MS Windows での対応が可能です。予め、USB メモリーでバックアップ用データをお持ち込みされることをお勧めいたします。接続方法は HDMI 端子のみとなります。Mac や一部の Windows PC では変換コネクタが必要となりますので、必ずご持参ください。外部出力のない機器もご使用出来ません。D-sub15 ピン(ミニ)や Mini Display Port, USB-Type-C など HDMI 端子以外での接続はお受けできません。AC アダプターを必ずご持参ください。

2) 一般口述演題(奨励賞受賞演題を含む)

- 良順会館1FのPC受付にて、発表データをお預けください。
- 講演・発表の1時間前までにPC受付にて発表データの提出をお済ませください。
- 大会2日目9:00開始のセッションでご発表の方は、大会1日目に受付をお済ませいただきますようご協力をお願いいたします。
- 発表データはUSBメモリーにて受け付けます。
- メディアはウイルス定義データを最新のものに更新したセキュリティソフトにて、ウイルスに感染していないことを事前に必ずご確認ください。
- PCの持ち込みは受け付けませんので、発表データを作成したPC以外で正常にデータが作動することを事前に必ずご確認ください。
- ファイル名は「演題番号 演者名」(例：O1-1 学会太郎)としてください。

5. ポスター貼付・撤去時間および発表要領(奨励賞受賞演題を含む)

会 場：良順会館 1F 専斎ホール

時 間：

ポスター貼付：6月8日(土) 8:30～9:25

6月9日(日) 8:30～9:00

ポスター掲示：6月8日(土) 9:25～15:35

6月9日(日) 9:00～14:00

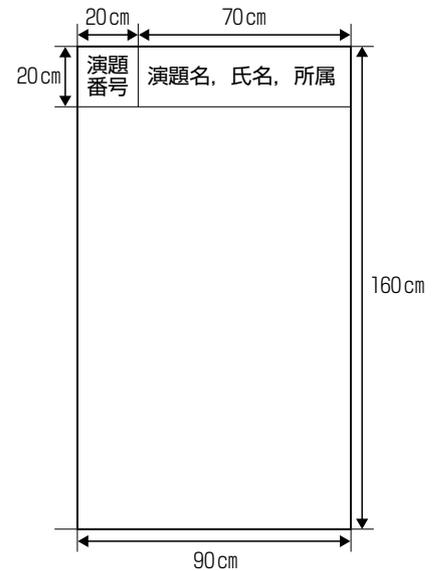
ポスター撤去：6月8日(土) 17:00～18:30

6月9日(日) 14:00～15:30

- 演者は予めポスターパネルに備え付けのリボンを着用し、上記の発表時間5分前までにはご自身のポスター前に待機してください。
- 個別にプレゼンテーションは実施いたしません。上記時間内において自由にご討議ください。
- ポスター撤去時間内に必ずご自身のポスターを撤去してください。

6. ポスター作成要領

- 各ポスターパネルに貼付する演題番号は学術大会事務局が用意いたします。
- ポスターは縦160cm、横90cmの範囲内に収まるよう作成してください。
- タイトル(演題名、氏名、所属)は縦20cm、横70cmのサイズで作成してください。
- 質問用紙および意見袋などが必要な場合は、発表者ご自身で持参、設置してください。



ポスター見本

■発表者へのお願い

1. 発表者の変更

当日の発表が困難になった場合は、共同演者による代理発表をお願いいたします。代理も困難な場合は、学術大会事務局(28thjapr@gmail.com)までご連絡ください。

2. 倫理上の注意

- ヘルシンキ宣言ならびに人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に沿った研究であることを確認してください。
- 動物実験に関しては、医学系研究に関する倫理指針・動物実験関連法規に沿った研究であることを確認してください。
- 発表演題に関する倫理的配慮について、必ずスライドまたはポスター内に明記してください。

3. 利益相反の開示について

- スライドまたはポスター内に利益相反の有無および利益相反がある場合には企業名を提示してください。
- 口述発表に際しては、発表スライドの2枚目に別に定める様式(様式1: <https://www.japr.org/wp-content/uploads/2020/07/youshiki1.pdf>)を用いて利益相反に関する必要事項を開示してください。
- ポスター発表に際しては、別に定める様式(様式1: <https://www.japr.org/wp-content/uploads/2020/07/youshiki1.pdf>)に基づいてポスター内に利益相反に関する必要事項を開示してください。
- 利益相反に関して報告すべき事項がある場合は、必要な様式(様式2: <https://www.japr.org/wp-content/uploads/2020/07/youshiki2.pdf>)を抄録と共に学術大会事務局(28thjapr@gmail.com)まで事前に提出してください。

※その他、最新の情報は学術大会ホームページ(<https://www.painreha.com/>)をご確認ください。

日本ペインリハビリテーション学会 日本疼痛学会
日本運動器疼痛学会 日本口腔顔面痛学会 合同開催
第29回日本ペインリハビリテーション学会学術大会

テーマ: JAPAN PAIN WEEK ともに未来を築く

会 期: 2025年12月4日(木)～6日(土)

会 場: 東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明3丁目11-1

大会長: 城 由起子(名古屋学院大学 リハビリテーション学部)

1日目 2024年6月8日 土

	第1会場 記念講堂	第2会場 良順会館 2F ボードインホール	第3会場 ボンベ会館 セミナー室	第4会場 ボンベ会館 第一会議室	ポスター会場 良順会館 1F 専斎ホール	機器展示 記念講堂前ホール	
9:00	8:30~9:20 受付開始				8:30~9:25 ポスター貼付	機器展示	
9:20~	大会長挨拶 第2会場サテライト中継 教育講演 第2会場サテライト中継 1. 拘縮の病態とメカニズム 座長：今井 亮太 講師：本田 祐一郎 2. ペインマネジメントに活かす電気刺激療法の基礎知識 座長：壬生 彰 講師：生野 公貴 3. 患者のセルフマネジメントを高める目標設定 座長：許山 勝弘 講師：友利 幸之介				9:25 ↓ 13:25		
10:00			臨床実践の新機軸 座長：城 由起子 講師：片岡 英樹		ポ ス タ ー 掲 示		
11:00	大会長講演 第2会場サテライト中継 特別講演 第2会場サテライト中継 痛覚変調性疼痛の概念およびメカニズムから切り拓く慢性疼痛治療の新機軸 座長：片岡 英樹 講師：加藤 総夫						
12:00							
13:00	12:15~13:15 第2会場サテライト中継 ランチョンセミナー1 リハビリテーション薬剤の考え方とオピオイド誘発性便秘症管理 座長：松原 貴子 講師：城 由起子, 中道 真理子 共催：塩野義製薬株式会社						
14:00	13:25~14:25 一般口述演題1 [病態1] O1-1~O1-6 座長：金原 一宏	13:25~14:25 一般口述演題2 [治療1] O2-1~O2-6 座長：重藤 隼人	13:25~14:25 一般口述演題3 [疫学1] O3-1~O3-6 座長：齊藤 貴文	13:25~14:25 一般口述演題4 [治療2] O4-1~O4-6 座長：田中 陽一	13:25~14:25 ポスター演題1 P1-1~P1-29		
15:00	14:35~15:35 奨励賞受賞演題 E1-1~E1-6 座長：土井 篤, 平瀬 達哉	14:35~15:35 一般口述演題5 [病態2] O5-1~O5-6 座長：佐々木 遼	14:35~15:35 一般口述演題6 [評価1] O6-1~O6-6 座長：藤井 廉	14:35~15:35 一般口述演題7 [治療3] O7-1~O7-6 座長：島原 範芳	14:25~15:35 ポスター掲示		
16:00	15:45~16:45 エキスパートに学ぶ臨床実践 ワークショップ1 慢性疼痛に対するペインリハビリテーション -ベーシック編:慢性腰痛- 進行：城 由起子, 平川 善之 講師：井上 雅之	15:45~16:45 エキスパートに学ぶ臨床実践 ワークショップ2 慢性疼痛に対するペインリハビリテーション -アドバンス編:複合性局所疼痛症候群-	15:45~16:45 エキスパートに学ぶ臨床実践 ワークショップ3 アプリケーションを活用した目標設定 進行：後藤 響 講師：友利 幸之介		15:45~16:45 エキスパートに学ぶ臨床実践 ハンズオンセミナー 定量的感覚検査のコツとピットフォール		
17:00	16:55~18:15 第2会場サテライト中継 シンポジウム1 ペインリハビリテーションとDXの融合 座長：大住 倫弘, 片山 脩 シンポジスト：近藤 慎也, 金居 督之, 池田 登顕		進行：江草 典政, 下 和弘 講師：壬生 彰	進行：小田 翔太 講師：服部 貴文	17:00~18:30 ポスター撤去		
18:00							
19:00							
19:30~ 懇親会				会場：長崎サンプリエール			

2日目 2024年6月9日

	第1会場 記念講堂	第2会場 良順会館 2F ボードインホール	第3会場 ボンベ会館 セミナー室	第4会場 ボンベ会館 第一会議室	ポスター会場 良順会館 1F 専斎ホール	機器展示 記念講堂前ホール
8:30	8:30~9:00 受付開始				8:30~9:00 ポスター貼付	
9:00	9:00~9:50 一般口述演題8 [評価2] O8-1~O8-5 座長:大友 篤	9:00~9:50 一般口述演題9 [疫学2] O9-1~O9-5 座長:片山 脩	9:00~9:50 一般口述演題10 [基礎1] O10-1~O10-5 座長:田中 なつみ	9:00~9:50 一般口述演題11 [治療4] O11-1~O11-5 座長:古賀 優之	9:00 } 13:00 ポスター掲示	機器展示
10:00	10:00~11:30 第2会場サテライト中継 特別企画 子どもと認知症高齢者の痛みに対する リハビリテーションを考える 座長:平川 善之, 平瀬 達哉 講師:加藤 実, 鳥沢 伸大, 安藤 千晶, 後藤 響					
11:00	11:50~12:50 第2会場サテライト中継 ランチョンセミナー2 慢性腰痛・関節痛 —上手くリハビリを勤めて中枢・末梢神経の痛みを取ろう— 座長:高島 英昭 講師:三木 健司 共催:第一三共株式会社					
12:00						
13:00	13:00~14:00 一般口述演題12 [治療5] O12-1~O12-6 座長:田中 克宜	13:00~14:00 一般口述演題13 [評価3] O13-1~O13-6 座長:大鶴 直史	13:00~14:00 一般口述演題14 [基礎2] O14-1~O14-6 座長:大賀 智史	13:00~14:00 一般口述演題15 [病態3] O15-1~O15-6 座長:山口 修平	13:00~14:00 ポスター演題2 P2-1~P2-28 奨励賞受賞演題 P2-1, P2-7, P2-15, P2-21, P2-22	
14:00	14:10~15:30 第2会場サテライト中継 シンポジウム2 ペインリハビリテーションの新機軸 座長:片岡 英樹, 佐藤 剛介 シンポジスト:服部 貴文, 西 祐樹, 田中 創				14:00 } 15:30 ポスター撤去	
15:00	15:30~15:45 第2会場サテライト中継 次期大会長挨拶ならびに表彰式・閉会の辞					
16:00						
17:00						

奨励賞受賞演題一覧

■ 優秀賞について

第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会におきましては、以下の奨励賞受賞演題から、優秀賞および最優秀賞を一般口述演題、ポスター演題それぞれで選出いたします。

〈一般口述演題〉

- E1-1** 山田 良 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究所
脳卒中後肩関節痛の発症および重症度に関与する要因の検討
- E1-2** 古賀 優之 畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室
人工膝関節全置換術患者における疼痛／運動恐怖と膝の運動学的データの関連性
- E1-3** 本川 智子 長崎リハビリテーション病院 臨床部
末期変形性膝関節症モデルラットに対する筋収縮運動は末梢・脊髄レベルの病態を抑制することで痛みを軽減する
- E1-4** 足立 功浩 サカイ脳神経外科
小児・思春期の頭痛を伴う体位性頻脈症候群患者に対する集学的治療の有効性
- E1-5** 田中 創 福岡整形外科病院 リハビリテーション科
人工膝関節全置換術に対する Pain neuroscience education は術後急性痛の軽減と遷延性術後痛の予防に有効である
～傾向スコアマッチング法を用いた検証～
- E1-6** 本間 康太郎 医療法人社団苑田会 苑田第三病院
腰部脊柱管狭窄症術後患者の痺れとバランス機能に対する痺れ同調経皮的電気神経刺激の効果：シングルケーススタディ

〈ポスター演題〉

- P2-1** 田中 繁治 神奈川県立保健福祉大学
変形性股関節症患者における破局的思考は健康関連 QOL に影響する
—多施設共同研究による検討—
- P2-7** 生野 公貴 西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部
神経障害性疼痛に対するしびれ同調経皮的電気神経刺激による自覚的疼痛強度と脳波の変化：症例報告
- P2-15** 中楚 友一郎 愛知医科大学 医学部 疼痛医学講座
慢性膝痛に対する「運動指導＋患者教育＋運動時 TENS」の長期効果
- P2-21** 加世田 怜 社会医療法人 長崎記念病院
腰背部痛の残存により妻の介護に不安を持った高齢の脊椎圧迫骨折患者に対する遠隔リハビリテーションの経験
- P2-22** 永富 祐太 九州大学病院 リハビリテーション部
集学的痛みセンターにおける継続的診療には愛着スタイルが影響する

プログラム

会場：長崎大学 医学部 医学科 坂本キャンパス

大会長講演

6月8日(土) 10:45~11:00 第1会場(記念講堂)

臨床実践の新機軸

座長：城 由起子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部
講師：片岡 英樹 社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野

特別講演

6月8日(土) 11:00~12:00 第1会場(記念講堂)

SL 痛覚変調性疼痛の概念およびメカニズムから切り拓く 慢性疼痛治療の新機軸

座長：片岡 英樹 長崎記念病院 リハビリテーション部
講師：加藤 総夫 東京慈恵会医科大学 痛み脳科学センター

特別企画

6月9日(日) 10:00~11:30 第1会場(記念講堂)

座長：平川 善之(福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部)
平瀬 達哉(神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部)

[こどもと認知症高齢者の痛みに対するリハビリテーションを考える]

- レクチャー① こどもの痛みをどう捉えるか
加藤 実 春日部市立医療センター ペインクリニック内科
- 実践報告① こどもの慢性疼痛に対するリハビリテーション
鳥沢 伸大 日本大学医学部附属板橋病院 リハビリテーション科
- レクチャー② 認知症高齢者の痛みをどう捉えるか
安藤 千晶 東京都健康長寿医療センター研究所 認知症未来社会創造センター
- 実践報告② 認知症を有する大腿骨近位部骨折患者に対するリハビリテーション
後藤 響 長崎記念病院 リハビリテーション部

シンポジウム1

6月8日(土) 16:55~18:15 第1会場(記念講堂)

座長: 大住 倫弘(畿央大学大学院 健康科学研究科)

片山 脩(国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部)

[ペインリハビリテーションとDXの融合]

S1-1 双方向モバイルアプリを活用した運動療法

近藤 慎也 株式会社リハサク

S1-2 デジタルヘルスリハビリテーションが促す行動変容

金居 督之 金沢大学 融合研究域融合科学系

S1-3 ビッグデータが導く新規介入戦略
~疼痛疫学者の視点から~池田 登顕 山形大学 医学部 医療政策学講座
東北大学 歯学部 国際歯科保健学分野

シンポジウム2

6月9日(日) 14:10~15:30 第1会場(記念講堂)

座長: 片岡 英樹(長崎記念病院 リハビリテーション部)

佐藤 剛介(奈良県総合医療センター リハビリテーション部)

[ペインリハビリテーションの新機軸]

S2-1 評価の新機軸
—病態メカニズムの把握—

服部 貴文 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

S2-2 物理療法の新機軸
—しびれ感に対する治療—

西 祐樹 長崎大学 生命医科学域(保健学系)

S2-3 運動療法の新機軸
—層別化に基づく治療—田中 創 福岡整形外科病院 リハビリテーション科
愛知医科大学 医学部 疼痛医学講座

教育講演

6月8日(土) 9:25~10:40 第1会場(記念講堂)

EL-1 拘縮の病態とメカニズム

座長：今井 亮太 大阪河崎リハビリテーション大学 リハビリテーション学部
講師：本田 祐一郎 長崎大学 生命医科学域(保健学系)

EL-2 ペインマネジメントに活かす電気刺激療法の基礎知識

座長：壬生 彰 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科
講師：生野 公貴 西大和リハビリテーション病院 リハビリテーション部

EL-3 患者のセルフマネジメントを高める目標設定

座長：許山 勝弘 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部
講師：友利 幸之介 東京工科大学 作業療法学専攻

エキスパートに学ぶ臨床実践

6月8日(土) 15:45~16:45

ワークショップ1

第1会場(記念講堂)

慢性疼痛に対するペインリハビリテーション
—ベーシック編：慢性腰痛—

進行：城 由起子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部
平川 善之 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部
講師：井上 雅之 愛知医科大学 運動療育センター/疼痛医学講座

ワークショップ2

第2会場(良順会館 2F ボードインホール)

慢性疼痛に対するペインリハビリテーション
—アドバンス編：複合性局所疼痛症候群—

進行：江草 典政 島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部
下 和弘 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
講師：壬生 彰 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部

ワークショップ3

第3,4会場(ポンペ会館 セミナー室, 第一会議室)

アプリケーションを活用した目標設定

進行：後藤 響 長崎記念病院 リハビリテーション部
講師：友利 幸之介 東京工科大学 作業療法学専攻

ハンズオンセミナー

良順会館 1F 専斎ホール

定量的感覚検査のコツとピットフォール

進行：小田 翔太 高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部

講師：服部 貴文 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

ランチョンセミナー1

6月8日(土) 12:15~13:15 第1会場(記念講堂)

座長：松原 貴子(神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究科)

[リハビリテーション薬剤の考え方とオピオイド誘発性便秘症管理]**LS1-1 リハセラピストにも知っておいて欲しい便秘のこと**

講師：城 由起子 名古屋学院大学 リハビリテーション学部

LS1-2 生活機能を考慮したリハ薬剤で“痛み”への薬物療法を考察する

講師：中道 真理子 原土井病院 薬剤部

共催：塩野義製薬株式会社

ランチョンセミナー2

6月9日(日) 11:50~12:50 第1会場(記念講堂)

慢性腰痛・関節痛**—上手くりハビリを勧めて中枢・末梢神経の痛みを取ろう—**

座長：高島 英昭 長崎大学病院 リハビリテーション科

講師：三木 健司 大阪行岡医療大学 医療学部

共催：第一三共株式会社

プレコングレス

プレコングレスセミナー

4月18日(木)～6月7日(金)

[評価の新機軸]

痛みの治療戦略につなげる評価とは
—いかに評価してどのように捉えるか—

西上 智彦 県立広島大学 保健福祉学部

定性的に捉える痛みの情動・認知的側面
—質問紙だけではみえない問題を探る—

大鶴 直史 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

[介入の新機軸]

疼痛治療としての徒手療法の最新エビデンス

重藤 隼人 京都橘大学 健康科学部 理学療法学科

ペインマネジメントとしての作業療法の実践

田中 陽一 兵庫医科大学 リハビリテーション学部

[小児・高齢者が抱える問題]

こどもが抱える感覚・運動の問題

儀間 裕貴 東京都立大学大学院 人間健康科学研究科

高齢者の痛みとリハビリテーション

平瀬 達哉 神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻

プレコングレスミニレクチャー

4月1日(月)～6月7日(金)

01 疼痛感作のメカニズム

松尾 英明 福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部

02 高齢者の痛みの実態

齊藤 貴文 令和健康科学大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

03 運動処方 of 基本的な考え方

大友 篤 仙台ペインクリニック

04 行動変容アプローチの基本と実際

許山 勝弘 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部

05 医療におけるビッグデータの活用

片山 脩 国立長寿医療研究センター 予防老年学研究部

06 定量的感覚検査の意義と実際

小田 翔太 高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部

07 痛みの運動学的評価

藤井 廉 武蔵ヶ丘病院 武蔵ヶ丘臨床研究センター

08 痛みに対する物理療法

森下 勝行 城西国際大学大学院 健康科学研究科 健康科学専攻 リハビリテーション学領域

09 運動療法による鎮痛メカニズム

山口 修平 済衆館病院 リハビリテーション技術科

一般口述演題 プログラム

奨励賞受賞演題

6月8日(土) 14:35~15:35 第1会場(記念講堂)

座長：土井 篤(熊本保健科学大学大学院 リハビリテーション領域)
平瀬 達哉(神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部)

- E1-1** 脳卒中後肩関節痛の発症および重症度に関与する要因の検討
山田 良 神戸学院大学大学院 総合リハビリテーション学研究所
- E1-2** 人工膝関節全置換術患者における疼痛/運動恐怖と膝の運動学的データの関連性
古賀 優之 畿央大学大学院 健康科学研究科 神経リハビリテーション学研究室
- E1-3** 末期変形性膝関節症モデルラットに対する筋収縮運動は末梢・脊髄レベルの病態を抑制することで痛みを軽減する
本川 智子 長崎リハビリテーション病院 臨床部
- E1-4** 小児・思春期の頭痛を伴う体位性頻脈症候群患者に対する集学的治療の有効性
足立 功浩 サカイ脳神経外科
- E1-5** 人工膝関節全置換術に対する Pain neuroscience education は術後急性痛の軽減と遷延性術後痛の予防に有効である～傾向スコアマッチング法を用いた検証～
田中 創 福岡整形外科病院 リハビリテーション科
- E1-6** 腰部脊柱管狭窄症術後患者の痺れとバランス機能に対する痺れ同調経皮的電気神経刺激の効果：シングルケーススタディ
本間 康太郎 医療法人社団苑田会 苑田第三病院

一般口述演題1 [病態1]

6月8日(土) 13:25~14:25 第1会場(記念講堂)

座長：金原 一宏(聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部)

- O1-1** 人工股関節全置換術における術後遷延性疼痛の発生率とその要因～女性を対象とした術前から術後6か月までの調査～
鈴木 佑介 医療法人松田会 松田病院 リハビリテーション部
- O1-2** 消化器がん患者の術後遷延痛のリスク因子の検討—トータルペイン概念に基づく包括的な分析—
成瀬 宏司 さくら総合病院 リハビリテーションセンター

- 01-3** 変形性膝関節症における膝関節の軟骨損傷重症度と疼痛が一致しない症例群の歩行時痛に影響を与える要因
内藤 卓也 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部
- 01-4** パーキンソン病患者の疼痛と内因性疼痛調節機能の関係性
前田 創 兵庫県立リハビリテーション中央病院
- 01-5** 人工膝関節全置換術術前と術後早期における心拍変動と疼痛および自律神経症状との関係
川淵 敬太 鳥取県立中央病院 リハビリテーション室
- 01-6** 人工膝関節全置換術後患者における急性期の疼痛関連因子の動的変化と遷延性術後痛の関連性
友岡 佑太 医療法人同信会 福岡整形外科病院 リハビリテーション科

一般口述演題2 [治療1]

6月8日(土) 13:25~14:25 第2会場(良順会館 2F ボードインホール)

座長: 重藤 隼人(京都橘大学 健康科学部)

- 02-1** 脊髄炎による異常感覚および疼痛行動に対するしびれ同調経皮的電気神経刺激の効果: シングルケース実験デザイン
西 祐樹 長崎大学 生命医科学域(保健学系)
- 02-2** ギプス固定を繰り返し重篤化したCRPSに対し神経ブロックを併用した段階的運動療法が奏効した症例
運天 優拓 医療法人豊誠会 牧港クリニック リハビリテーション科
- 02-3** 標準理学療法に加え集束型体外衝撃波を併用することで疼痛改善を認めた慢性腰痛症例
山本 美咲 吉本整形外科クリニック リハビリテーション科
- 02-4** 痛覚変調性疼痛に対して多職種での介入が痛みの軽減に繋がった症例
大澤 幸一 仙台ペインクリニック リハビリテーション科
- 02-5** ACL再建術後の無視様症状に対する患者教育と感覚識別課題が奏功し松葉杖歩行を獲得した一例
中村 祐輝 社会福祉法人十善会 十善会病院
- 02-6** 椎間関節に対する関節モビライゼーションとバイオフィードバックの併用が身体知覚異常の改善に有効であった慢性腰痛の一症例
永野 雄太 医療法人社団円徳 足立慶友整形外科

大会長講演

〔 臨床実践の新機軸 〕

座長：城 由起子 (名古屋学院大学 リハビリテーション学部)

講師：片岡 英樹 (社会医療法人 長崎記念病院 リハビリテーション部
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 理学療法学分野)

一般口述演題

編集委員 片岡 英樹, 壬生 彰, 今井 亮太, 近藤 康隆, 佐々木 遼

編集後記

今回、「Pain Rehabilitation」第14巻2号をお届けいたします。この第14巻2号は、第28回日本ペインリハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集となっています。

第28回学術大会では「臨床実践の新機軸」をテーマに掲げ、ペインリハビリテーションに関わる新たな知見や技術をどのように活用し、日常の臨床に実装していくかについて議論するとともに、臨床実践が不十分な患者について理解を深め、少しでも効果的な介入が可能となるような新機軸を打ち出すことを目指しています。オンデマンドおよびリアルタイム配信によるプレコンGRES企画に加え、現地開催でのプログラムとしては、大会長講演、特別講演、シンポジウム、共催セミナー、教育講演の他、初の試みとしてハンズオンセミナーやワークショップも企画されております。また、一般演題は過去最高となる149演題(口述演題92演題、ポスター演題57演題)が予定されております。ぜひ多数の皆様にご参加いただき、有意義な学術大会となりますことを期待しております。

最後となりますが、第28回学術大会の運営にご尽力いただきました運営委員・準備委員ならびに理事・代議員の先生方、また、本学術大会の趣意にご賛同いただき多大なるご支援を賜りました後援企業の皆様に深謝申し上げます。

(片岡 英樹)

Pain Rehabilitation 第14巻2号

令和6年(2024年)5月20日 発行

編集・発行：一般社団法人 日本ペインリハビリテーション学会

事務局：日本福祉大学 健康科学部 リハビリテーション学科
理学療法学専攻内
〒470-0012 愛知県半田市東生見町26-2
TEL：0569-20-0118(内線2527)

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>